

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	5月	23日	記入者	久門たつお
調査者名	久門	倉本	鈴木	仲谷	

調査対象先	講御堂寺(真言律宗)				
所在地	五條市五條1丁目1-14			電話番号	0747-22-2630
代表者 調査対応者	久保孝戒住職(唐招提寺執事長)				
対象文化財	彫刻	県指定:	2件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件棟	国宝:	件棟
				重文:	件
				重文:	件棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	1973(昭和48)年建造の現本堂は鉄筋コンクリート、瓦葺きで、耐震性は十分あると考えている。いずれも県指定の木造阿弥陀如来坐像の本尊と前立、木造観音菩薩立像を安置している。
	今後の予定	江戸後期建造の客殿・庫裡は特に地震対策は行っていない。不安はあり、対策ができればしたいが、文化財指定を受けていないので公的補助は難しく、自費のみでは困難だ。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	江戸中期建立の旧本堂は1968(昭和43)年に漏電による火災で焼失したが、幸い仏像などは持ち出せた。本堂、客殿・庫裡などに火災感知機を設置。火災報知機を設け、消火器も配備している。
	今後の予定	設置している火災感知機は旧来からのものと、セキュリティー会社の火災・防犯センサーの2種ある。会社のものは留守にしているでも連絡が入るので、安心できる。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	講御堂寺(真言律宗)
-------	------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	白アリについては業者に定期的にチェックしてもらっている。

県指定の木造阿弥陀如来坐像(奥・本尊と手前・前立)



本尊などを安置する鉄筋の本堂



本堂などの火災感知機(右)と火災・防犯センサー



県指定の木造観音菩薩立像



明治時代建造の門。燈籠左に消火器格納箱



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

旧本堂は1968(昭和43)年に漏電による火災で焼失したとのことで、それを教訓に本堂などの防火対策はしっかり配慮しておられる。鉄筋コンクリート、瓦葺きの本堂は耐震性があると思われる。